

平成 30 年度 第 1 回介護・医療連携推進会議議事録

平成 30 年 8 月 23 日 (木)

15 : 00 ~ 16 : 00

さくらメディカル株式会社 さくらホームケアセンター

1. 開会の挨拶

2. 出席者の紹介

- ・ご利用者家族様
- ・鴨島 2 丁目町内会長
- ・鴨島 2 丁目民生委員
- ・上越市役所 高齢者支援課
- ・高田の郷地域包括支援センター
- ・さくらメディカル株式会社 常務取締役
- ・訪問看護ステーション高田 看護師
- ・さくらステーション高田 所長
- ・さくらステーション高田 副所長
- ・さくらステーション高田 計画作成責任者

3. サービス実施状況

(1) 利用状況

	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
利用者数	16	17	17	16	17	16
随時対応	38	19	22	10	14	11
随時訪問	56	46	41	31	54	45

平成 30 年 8 月現在

平成 30 年 3 月～平成 30 年 8 月までの内訳

●随時対応 114 件

- ・安否確認
- ・ケアマネージャーへの連絡
- ・サービスに関して
- ・薬に関して
- ・その他 (喉に食べ物が詰ったとコールあり、救急車の手配を促した)

●随時対応 273 件

- ・水分補給
- ・姿勢保持
- ・更衣介助
- ・排泄介助
- ・安否確認 (体調不良の訴えあり、訪問看護と連絡をとり指示に従い対応) など

(2) 事例発表

「居宅療養管理指導（訪問栄養食事指導）の導入」

女性 89歳 要介護5

1日2回排泄介助のサービス実施していた。食事中に食べ物が詰ったと家族から連絡あり。幸い家族が食べ物を除去し大事には至らなかったが、昼・夕食の見守りサービスが追加となった。その後、食事の際に咽や痰からみが出現、誤嚥予防と並行して体調管理の為に減量の必要性もあるとのことで、主治医より訪問栄養指導の実施指示が出た。医療保険の訪問看護も利用され、看護師による嚥下機能向上訓練、ヘルパーによる、食事見守りによる誤嚥防止に努めている。

(3) 事故・苦情・状況報告・ヒヤリハット事例報告

【ヒヤリハット事例】

7/14 発生 要介護3 男性

就寝前の排泄介助時、車椅子でトイレまで移動し、排泄後の手洗いの際にふらつきがあり、転倒しそうになった。ヘルパーが後方で臀部を支え、転倒には至らなかった。

発生原因として、ロングショートステイを利用されており、車椅子で過ごす時間が長くなったことによる筋力低下があったと考えられる。

再発防止策として、帰宅前、事前にケアマネージャーを通して情報収集し、常に転倒のリスクがあることに配慮して介助を行う。

【事故・苦情なし】

4. さくらステーション高田の活動報告

- ・平成30年度 個別地域ケア会議への参加
- ・9/13 上越市定期巡回事業所合同セミナー開催予定

5. 質疑・応答

6. 閉会の挨拶

次回開催予定 平成31年2月